

第 24 回優秀会社史賞特別賞 入賞作品 受賞のことは

『 りそなグループ 20 年のあゆみ -変革への挑戦- 』

このたびは、第 24 回「優秀会社史賞 特別賞」に選出いただき、誠に有難うございます。主催者である一般財団法人日本経営史研究所の皆さま、そして選考委員会の皆さまに深く感謝申し上げます。このような歴史と権威のある賞をいただけることは、大きな喜びであると同時に、編纂における多くの困難や苦労も報われた気がします。

私どもの社史「りそなグループ 20 年のあゆみ-変革への挑戦-」は、2003 年 5 月 17 日の公的資金注入の決定、いわゆる「りそなショック」、そして再生にむけた改革のスタートから 20 年の節目を迎えるにあたり、編纂を行ったものです。

その目的と方針は、りそなグループの経営理念やブランドの原点を再確認し、築き上げてきた変革の DNA を次の世代に継承していくこと、そして、これまで支えていただいた全てのステークホルダーの方々へ改めて感謝を伝えるためのものとなりました。

このため私どもの社史では、敢えて会社設立日ではなく、2003 年の「りそなショック」という企業変革のスタートを起点にしました。経営危機に陥った原因に改めて真正面から向き合い、そこから得た教訓や学びをしっかりと記述するとともに、私たちりそなグループの企業文化がどのように形成されたのかを重点的に取り上げました。

これは、昨年、新たに制定したグループパーパス「金融+で、未来をプラスに。」の根底に流れる想いに通ずるものであり、りそなグループが新しいステージに踏み出すタイミングで、この想いを過去から現在そして未来へつなぐための仕掛けでもありました。

編纂にあたっては、手に取りやすく、読んでもらうことを意識し、ソフトカバーで薄手の書籍形式にこだわって制作しました。また、グループ統合後初めての社史編纂であったため、資料収集や情報確認には多くの苦労がありました。特に当時を知る従業員が 3 割を切るような状況で、社内外の多くの方に取材協力をいただきました。この場を借りて、取材や執筆・編纂にご協力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

最後になりますが、改めて、これまで支えていただいたステークホルダーの皆さまに感謝の気持ちをお伝えするとともに、今後も、りそなグループは変革と挑戦を続け、皆さまの期待に応える企業であり続けることをお約束して、受賞の言葉といたします。

株式会社 りそなホールディングス



りそなホールディングス東京本社 社史編纂委員会事務局メンバー